

広島大学

令和8年度 広島大学光り輝き入試
総合型選抜 国際バカロレア型

解答例・出題の意図等

工学部 第三類
(応用化学・生物工学・化学工学系)

科目名：小論文

解答の公表に当たって、一義的な解答が示せない記述式の問題等については、「出題の意図又は複数の若しくは標準的な解答例等」を公表することとしています。

また、記述式の問題以外の問題についても、標準的な解答例として正答の一つを示している場合があります。

出題の意図

設問(a)

この設問は、科学技術の利点とリスクの両面を踏まえ、化学を専門とする技術者としての責任や行動を考察させることを目的としている。具体的には、①科学技術への幅広い関心と技術者としての倫理観に対する理解、②利益と安全性といった多様な要素を整理し、多角的に考察する力、③論理的に自らの意見を表現する力を問うものである。

設問(b)

この設問は、現代社会が直面している環境・食料・資源・エネルギーなどの持続可能性に関する課題を見出し、持続可能な社会の実現に向けて有機化学が果たす役割に対する理解度を評価することを目的としている。さらに、これらの課題に対し科学的視点からその貢献を論理的に考察・表現する力を問うものである。

設問(c)

光合成で生産された有機物は最終的には微生物等によって分解され、固定された二酸化炭素は大気中に再放出される。そのため、長期的な収支を考えると単純に植林するだけでは大気中の二酸化炭素濃度を減少する効果は限定的となる。この設問は、このことを出発点として、化石燃料を含めたエネルギー利用に関する化学的な基礎知識、および、産業化に必要な施設に関する基礎知識を統合して論述する力を問うものである。